

会 議 録	
会議名	令和4年度第1回在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会
日 時	令和4年6月28日(火) 13時30分～14時30分
会 場	グーグルミートWEB会議
参加者	<p>【部会長】高橋公一(みさと中央クリニック)</p> <p>【副部会長】佐藤真人(たかの薬局)</p> <p>【委 員】榊原佳彦(三愛会総合病院)、三瓶裕之(三郷ケアセンター)、尾崎伸夫(地域包括支援センターひこなり北)猪瀬茜(すこやか福祉会)、篠崎隆太(デイサロンみさと居宅介護支援事業所)</p> <p>【サポートセンター/三郷市医師会】藤井なほ美、川島幸道</p> <p>【市事務局】八巻絢子</p> <p style="text-align: right;">(敬称略)</p>
検討課題	<p>1. 研修部会の活動について</p> <p>2. 研修計画の作成</p>
内 容	<p>1. 研修部会の目的、委員の確認(福祉のニッカ早稲田 井上美和→デイサロンみさと居宅介護支援事業所 篠崎隆太に変更あり)。</p> <p>2. 今年度のスケジュールについて 本日を第1回とし、3～4回で開催予定とし適宜実施する。</p> <p>3. 予算について 今年度の予算については40万(税込み)となっている。</p> <p>4. 経過説明と研修検討課題</p> <p>① 2021年度:多職種を対象とした研修として実施 第1回:10月22～28日(水)Youtube配信研修会 「三郷市のコロナ禍における「各職種の現状」</p> <p>② 2020年度:多職種を対象とした研修として実施 第1回:10月14日(水)19:00～20:00 WEB研修会 「事務所の感染防止対策かかってしまったらどうなる?どうする?」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各職種の感染防止対策</li> <li>・新型コロナウイルス感染症発生時の実際の対応</li> </ul> <p>③ 2019年度:介護福祉士を主な対象とした研修として実施 第1回:9月27日(金)18:30～20:00</p>

	<p>「理学療法士によるリハビリ及び介護ポジショニング」</p> <p>第 2 回：11 月 11 日（月）18：30～20：30</p> <p>「口腔ケアと嚥下評価について ～口腔ケア相互実習および VE を会場で行い評価～」</p> <p>第 3 回：令和 2 年 2 月 15 日（土）14：00～16：00</p> <p>「フットケア 削らないで治すには？」</p> <p>④ 2018 年度：ケアカフェプレとして実施</p> <p>第 1 回：7 月 13 日</p> <p>定期巡回・随時対応サービスについて 薬のことは薬剤師にお任せください ディスカッションテーマ：薬・くすり</p> <p>第 2 回：9 月 14 日</p> <p>訪問歯科にできる事 リハビリテーション連絡協議会について ディスカッションテーマ：リハビリ～そこが知りたい</p> <p>第 3 回：10 月 12 日</p> <p>在宅における医師の仕事 三郷市介護支援専門員連絡協議会について ディスカッションテーマ：ケアマネさんのイメージって？</p> <p>◆令和 4 年度の多職種向けの研修会を、どのような内容で行うか、またどのような方法が良いのか検討した。検討内容は下記、A と B の内容を参考にした。</p> <p>A. 昨年の研修会のアンケートによると聞きたい研修について、以下の通りであった。</p> <p>① 交流がなくなった。情報共有の場が欲しい。</p> <p>② BCP について</p> <p>③ 連携・チームアプローチ（ICT 感染対策チーム・MCS の活用方法）</p> <p>④ 看取りについて</p> <p>また、前回の令和 3 年度第 4 回会議では②BCP について④看取りについての研修を議題候補として挙げられた。</p> <p>B. 令和 4 年第 1 回三郷市在宅医療介護連携推進協議会で上げられた地域の課題</p> <p>① 在宅看取りについて 理解を深める勉強会</p>
--	---

	<p>② 入退院支援・急変時の対応について 地域包括ケア病棟の機能や役割を知る。</p> <p>③ 日常の療養（連携）について MCS の利用開始手続きの簡略化・MCS の活用方法・使用例</p> <p>④ 介護支援専門員を対象にした各職種の専門性とサービスの特徴を知る機会を作る。</p> <p>5. 研修計画について 各委員から今年度の研修内容について意見を出し合った。</p> <p><input type="checkbox"/> 交流が減ったという事もあり、可能であれば、講演会でなくディスカッションできればいい。ケアカフェみたいな形なら参加しやすいのではないか。</p> <p><input type="checkbox"/> MCS の活用・地域の在宅医療介護の資源の周知も良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 在宅医療介護連携推進協議会で看取り、ACP、BCP が議題として上がっていたので取り上げてよい。MCS の周知は訪問看護の参加を促す為にも良いかなと思う。</p> <p><input type="checkbox"/> BCP（事業継続計画）の研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP 作成について考える範囲が広く、作るの難しい。出来る事はBCPの基本的な考え方や策定方法ではないか。</li> <li>・BCP をするにして、各委員の現在の取り組みの発表、テーマを決めてディスカッションとなると現状を考えて、話を煮詰めてやるには時間が掛かり、今年度中にやるには無理があるのではないか。</li> <li>・BCPのテーマを医介連携として取り上げるなら、理解と熟考が進み、関係者が災害時にどう連携し合うのか、役割分担をどうするのかということかと思えます。理解を深めるのは各事業所が自己研鑽で行う印象がある。</li> <li>・大規模災害が起きた時に三郷市はどう動くか分かれば各事業所で対策が立てられるかもしれない。</li> <li>・役割分担、連携という話は連携協議会で協議し、まとまってから研修という形で行うべきではないか。</li> <li>・BCPの各事業所の発表となった場合は事業所の許可（個人情報等）の考慮が必要ではないか。</li> <li>・BCPを作成するのに役立つ資料の提供はどうか。</li> </ul>
--	--

	<p>◆高橋部会長からACPとBCPの多職種向け研修会を行う事について意義のあることと話があった。</p> <p>BCPについては、分からない事があり、講師をお招きする必要はあるかも知れない。</p> <p>ACPは医師会の行う県のACP普及補助事業（市民向けと多職種向け）と連動して行うことができる。医療介護関係者は終末期で機能向上が望めない方にもケアを一生懸命やらなければならない。ACPを理解することによって、その意味を言葉にして本人や家族に伝えられるようになって欲しいとの言葉を頂いた。</p> <p>その後、委員よりACPは討議し易いテーマであり、今年度はACPとBCPの2回の研修を行うのはどうか。との意見が出た。</p> <p>一同賛同し、次回の会議までに実際にどう行うか、各自考えて貰うこととした。</p> <p>4. 実行方法【案】</p> <p>日程 1回目を9月から10月とする。</p> <p>会場 月の半ばの土曜日の会場を抑える。</p> <p>・配信方法【案】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. WEB配信（会場とのハイブリット方式）</li> <li>2. Youtube配信</li> </ol> <p>※具体的な内容の確認が終わってから決めていくこととなった。</p>
結 論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研修内容：ACPおよびBCPの研修を行う。年2回の開催</li> <li>2. 次回の研修会までに各委員に実行案を考えて貰う。</li> <li>3. 事務局：9月～10月の会場の確保</li> </ol> <p>1. 次回開催 令和4年7月26日（火）</p> <p>第2回研修部会 13：30～ WEB会議</p> <p>内容：研修の実行案のまとめ。1回目の研修会の計画決議。</p>